

# 好配当株の下値抵抗力和逆バリ戦略が不透明な相場で効果を発揮

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

2022年10月19日

## 1. 好配当株の下値抵抗力を発揮

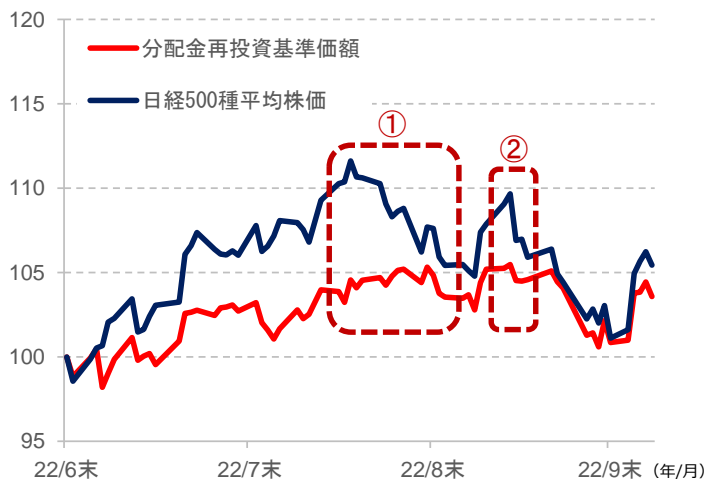
当ファンドの6月末からのリターンは、約+3.6%(分配金再投資基準価額ベース、10月7日時点)となり、参考指数(日経500種平均株価)の同期間騰落率(約+5.4%)を下回りました。

当期間の国内株式市場は、米国の金融政策動向や経済指標の動きに影響されました。8月中旬にかけては、米連邦準備制度理事会(FRB)が積極的な利上げを行わないとの思惑が広がり上昇したものの、その後FRBの一部メンバーから金融引き締めに関する積極的な発言が相次いだことや、ジャクソンホール会議において、パウエルFRB議長がインフレを鎮静化させる姿勢を改めて表明したことで、下落に転じました(図表1-①)。

参考指数が下落する中でも、当ファンドでは好配当株の強みである下値抵抗力が活かされ、基準価額の下落は限定的なものとなっていることがわかります(図表1-①、②)。

(図表1) 目まぐるしく変化する相場環境で見せる安定性

[2022年6月30日～2022年10月7日、日次]



※分配金再投資基準価額、日経500種平均株価は2022年6月30日を100として指数化  
 ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。  
 ※分配金再投資基準価額は、信託報酬控除後です。  
 ※日経500種平均株価は参考指数であり、ファンドのベンチマークではありません。  
 ※グラフは、過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

## 2. リバーサル効果を捉える運用

当ファンドのパフォーマンスを下支えする要因の一つに、「リバーサル効果<sup>※</sup>」があると考えられます。

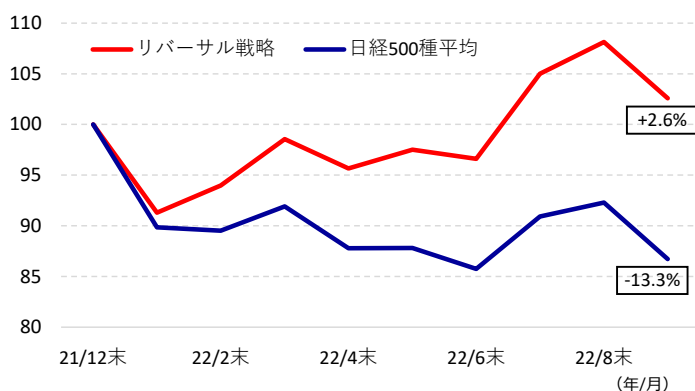
当ファンドでは毎月、配当利回りの高さを基準に銘柄入替えを行います。そのため、予想配当額が一定の場合、株価が下落した銘柄は予想配当利回りの上昇を通じてファンドに組入れられ、やがて反転するという「リバーサル効果」が期待されます。

図表2は、参考指数である日経500種平均の中から、月末時点で直近1か月のパフォーマンスが悪い順に50銘柄を均等に買い付け、翌月末まで保有した場合のパフォーマンス(リバーサル戦略)を示しています。

2022年はリバーサル戦略が参考指数を大きく上回っています。米金融政策や景気に対する見方が二転三転する不安定な相場の中、個別銘柄の物色も短期的に大きく変わりやすい展開が続いていると考えられ、このような動きも当ファンドにプラスに働いていると思われます。

(図表2) リバーサル効果がパフォーマンスを下支え

[2021年12月～2022年9月、月次]



※2021年12月末を100として指数化

(出所)図表1、2のグラフは、Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

※リバーサル効果とは：

「逆バリ戦略」とも呼ばれます。株価が下がった銘柄はその後の期間に反発し、逆に値上がりした銘柄は下落することが多い現象を指します。

### ＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

3. 約3年ぶりに銀行業の業種別組入比率が2位に低下

10月初めに、9月末時点の予想配当利回りデータのランキング等に基づく組入銘柄の入替えと投資比率の調整を行いました。

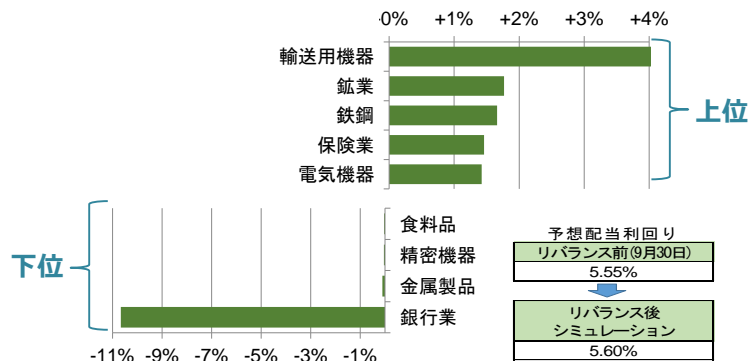
この結果、輸送用機器や鉱業、鉄鋼、保険業、電気機器などの組入比率が上昇し、銀行業の組入比率が大きく低下しました。世界的な金融引き締めによる金利上昇に伴い、銀行株のパフォーマンスが他業種と比較し堅調であったことが要因です(図表3)。

ポートフォリオの予想配当利回りは、リバランス前(9月30日)の5.55%から、リバランス後のシミュレーションでは5.60%へ0.05%ポイント上昇しました。

10月7日時点の業種別組入比率は、建設業が最も高く、銀行業、輸送用機器、化学、鉄鋼と続きます(図表4)。業種別組入比率の上位業種の顔ぶれはあまり変化しませんが、分散化が進みました。

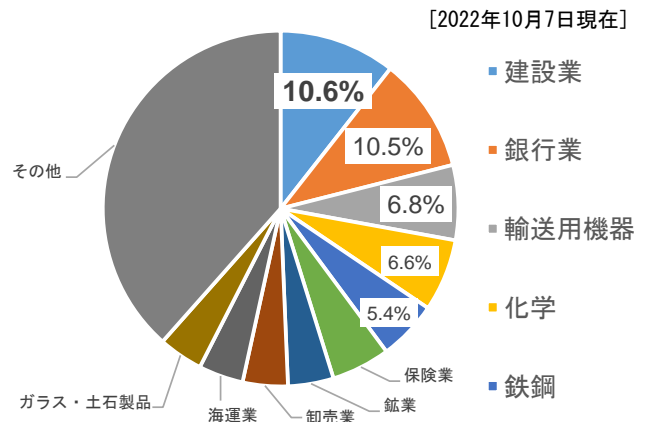
また、ファンドに組み入れている全ての銘柄は、予想配当利回りが4.0%以上であり、5%以上の銘柄も28銘柄組み入れています(図表5)。

(図表3) 大きく変化する業種別組入比率



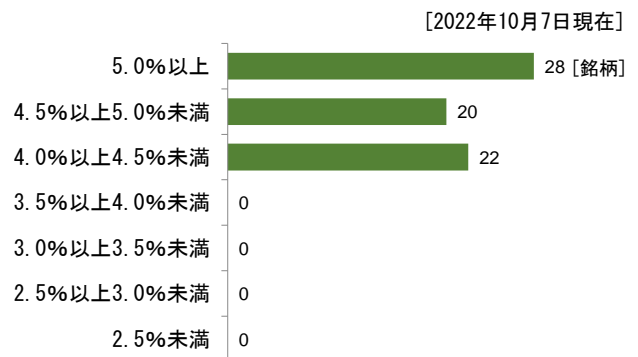
※グラフは、2022年9月30日と2022年10月7日における、当ファンドの純資産総額に対する業種別組入の変化を表したものです。  
 ※変化幅上位・下位の5業種のみを示しています。(下位5番目は変化率ゼロ。)  
 ※予想配当利回りはリバランス基準日時点の単純平均を用いた、9月末時点のポートフォリオを保持した場合と10月のリバランス後のポートフォリオを基にしたシミュレーションです。  
 (出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

(図表4) 業種別の分散が進むことで期待される安定したパフォーマンス



※組入比率は、10月7日における純資産総額に対する比率です。

(図表5) 好配当利回り銘柄数は高水準をキープ



(出所) Bloombergデータを基に岡三アセットマネジメント作成

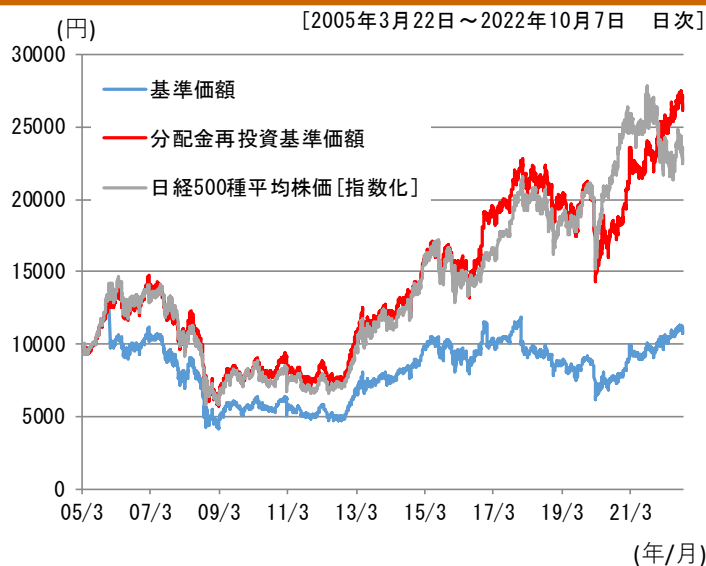
＜本資料に関してご留意いただきたい事項＞

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書（交付目論見書）をお渡しますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はおお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式

4. 基準価額、分配金等の実績

設定来の基準価額の推移



- ※基準価額は1万口当たり、信託報酬控除後です。
- ※設定日前営業日の1万口当たりの当初設定元本から表記しています。
- ※分配金再投資基準価額は、分配金(税引前)を当該分配金(税引前)が支払われた決算日の基準価額で再投資したものと計算した基準価額です。
- ※日経500種平均株価は設定日の前営業日を10,000として指数化しています。
- ※日経500種平均株価は参考指数でありファンドのベンチマークではありません。
- ※グラフは過去の実績であり、将来の成果を示唆または保証するものではありません。

(出所) Bloombergより岡三アセットマネジメント作成

ファンドの状況

[2022年10月7日現在]

基準価額	11,028 円
分配金再投資基準価額	26,944 円
純資産総額	62.2 億円
株式組入比率	93.4 %
組入銘柄数	70 銘柄
予想配当利回り(単純平均)	5.41 %
東証プライム加重平均利回り(参考)	2.53 %

- ※基準価額は1万口当たりです。
- ※株式組入比率は、純資産総額に対する比率です。

(出所) Bloomberg、QUICKより岡三アセットマネジメント作成

分配金の実績(直近5期)

[2022年10月7日現在]

決算期	分配金
第66期(2021年10月7日)	40 円
第67期(2022年1月7日)	40 円
第68期(2022年4月7日)	40 円
第69期(2022年7月7日)	40 円
第70期(2022年10月7日)	40 円
設定来の合計	8,710 円

- ※分配金は、1万口当たり、税引前です。また、分配可能額が少額の場合や基準価額水準によっては、収益分配を行わないことがあります。

(作成：運用本部)

<本資料に関してご留意いただきたい事項>

■本資料は情報提供を目的として岡三アセットマネジメント株式会社が作成したものであり、ファンドの投資勧誘を目的として作成したものではありません。■本資料に掲載されている市況見通し等は、本資料作成時点での当社の見解であり、将来予告なしに変更される場合があります。また、将来の運用成果を保証するものではありません。■本資料は、当社が信頼できると判断した情報を基に作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■投資信託の取得の申込みに当たっては、投資信託説明書(交付目論見書)をお渡ししますので必ず内容をご確認のうえ、投資判断はお客様ご自身で行っていただきますようお願いいたします。

**日本好配当リバランスオープン  
追加型投信／国内／株式**
**日本好配当リバランスオープンに関する留意事項**
**【岡三アセットマネジメントについて】**

商号：岡三アセットマネジメント株式会社

岡三アセットマネジメント株式会社は、金融商品取引業者として投資運用業、投資助言・代理業および第二種金融商品取引業を営んでいます。登録番号は、関東財務局長（金商）第370号で、一般社団法人投資信託協会および一般社団法人日本投資顧問業協会に加入しています。

**【投資リスク】**

- 投資者の皆様は投資元本は保証されているものではなく、基準価額の下落により、損失を被り、投資元本を割り込むことがあります。投資信託は預貯金と異なります。投資信託財産に生じた利益および損失は、すべて投資者の皆様へ帰属します。ファンドは、国内の株式等値動きのある有価証券等に投資しますので、組入れた有価証券等の価格の下落等の影響により、基準価額が下落し、損失を被ることがあります。
- ファンドの主な基準価額の変動要因としては、「株価変動リスク」、「信用リスク」があります。  
※基準価額の変動要因は上記のリスクに限定されるものではありません。

**【その他の留意点】**

- ファンドのお取引に関しては、金融商品取引法第37条の6の規定（いわゆるクーリングオフ）の適用はありません。
- 投資信託は預金商品や保険商品ではなく、預金保険、保険契約者保護機構の保護の対象ではありません。また、登録金融機関が取扱う投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。
- ファンドは、大量の解約が発生し短期間で解約資金を手当てする必要が生じた場合や主たる取引市場において市場環境が急変した場合等に、一時的に組入資産の流動性が低下し、市場実勢から期待できる価格で取引できないリスク、取引量が限られてしまうリスクがあります。これにより、基準価額にマイナスの影響を及ぼす可能性や、換金申込の受付が中止となる可能性、換金代金の支払が遅延する可能性があります。
- 分配金は、預貯金の利息とは異なり、ファンドの純資産から支払われますので、分配金が支払われると、その金額相当分、基準価額は下がります。分配金は、計算期間中に発生した収益を超えて支払われる場合があるため、分配金の水準は、必ずしも計算期間におけるファンドの収益率を示すものではありません。また、投資者の購入価額によっては、分配金の一部または全部が、実質的には元本の一部戻戻しに相当する場合があります。ファンド購入後の運用状況により、分配金額より基準価額の値上がり小さかった場合も同様です。
- 取引所における取引の停止、その他やむを得ない事情があるときは、購入・換金申込みの受付を中止することや、すでに受付けた購入・換金申込みの受付を取消すことがあります。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「投資リスク」をご参照ください。

**【お客様にご負担いただく費用】**

<お客様が直接的に負担する費用>

- 購入時
  - 購入時手数料：購入金額（購入価額×購入口数）×上限3.3%（税抜3.0%）  
詳しくは販売会社にご確認ください。
- 換金時
  - 換金手数料：ありません。
  - 信託財産留保額：ありません。

<お客様が信託財産で間接的に負担する費用>

- 保有期間中
  - 運用管理費用（信託報酬）  
：純資産総額×年率0.913%（税抜0.83%）
- その他費用・手数料
  - 監査費用：純資産総額×年率0.011%（税抜0.01%）

有価証券等の売買に係る売買委託手数料、投資信託財産に関する租税、信託事務の処理に要する諸費用等を投資信託財産でご負担いただきます。（監査費用を除くその他費用・手数料は、運用状況等により変動するため、事前に料率・上限額等を示すことはできません。）

- お客様にご負担いただく費用につきましては、運用状況等により変動する費用があることから、事前に合計金額もしくはその上限額またはこれらの計算方法を示すことはできません。
- 詳しくは、「投資信託説明書（交付目論見書）」の「手続・手数料等」をご参照ください。



**販売会社（1）**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人日本投資顧問業協会	一般社団法人金融先物取引業協会	一般社団法人第二種金融商品取引業協会
<b>（金融商品取引業者）</b>					
岡三証券株式会社	関東財務局長（金商）第53号	○	○	○	○
岡三にいがた証券株式会社	関東財務局長（金商）第169号	○			
アーク証券株式会社	関東財務局長（金商）第1号	○			
アイザワ証券株式会社	関東財務局長（金商）第3283号	○	○		
阿波証券株式会社	四国財務局長（金商）第1号	○			
auカブコム証券株式会社	関東財務局長（金商）第61号	○	○	○	○
SMBC日興証券株式会社	関東財務局長（金商）第2251号	○	○	○	○
株式会社SBI証券	関東財務局長（金商）第44号	○		○	○
岡安証券株式会社	近畿財務局長（金商）第8号	○			
寿証券株式会社	東海財務局長（金商）第7号	○			
三縁証券株式会社	東海財務局長（金商）第22号	○			
JPアセット証券株式会社	関東財務局長（金商）第2410号	○			
静岡東海証券株式会社	東海財務局長（金商）第8号	○			
島大証券株式会社	北陸財務局長（金商）第6号	○			
十六TT証券株式会社	東海財務局長（金商）第188号	○			
株式会社証券ジャパン	関東財務局長（金商）第170号	○			
新大垣証券株式会社	東海財務局長（金商）第11号	○			
株式会社しん証券さかもと	北陸財務局長（金商）第5号	○			
東海東京証券株式会社	東海財務局長（金商）第140号	○		○	○
ニュース証券株式会社	関東財務局長（金商）第138号	○	○		
フィデリティ証券株式会社	関東財務局長（金商）第152号	○	○		
二浪証券株式会社	四国財務局長（金商）第6号	○			
北洋証券株式会社	北海道財務局長（金商）第1号	○			
益茂証券株式会社	北陸財務局長（金商）第12号	○			
松井証券株式会社	関東財務局長（金商）第164号	○		○	
むさし証券株式会社	関東財務局長（金商）第105号	○			○
楽天証券株式会社	関東財務局長（金商）第195号	○	○	○	○
ワイエム証券株式会社	中国財務局長（金商）第8号	○			
愛媛証券株式会社	四国財務局長（金商）第2号	○			
三晃証券株式会社	関東財務局長（金商）第72号	○			
JIA証券株式会社	関東財務局長（金商）第2444号	○			○
野畑証券株式会社	東海財務局長（金商）第18号	○			○

※岡三証券株式会社は、一般社団法人日本暗号資産取引業協会にも加入しております。

※十六TT証券株式会社は、同社にラップ取引口座を開設した場合に限ります。

※東海東京証券株式会社は、同社にラップ取引口座を開設した場合に限ります。

※ワイエム証券株式会社は、同社にラップ取引口座を開設した場合に限ります。

**販売会社（2）**

受益権の募集の取扱い、投資信託説明書（交付目論見書）、投資信託説明書（請求目論見書）及び運用報告書の交付の取扱い、解約請求の受付、買取請求の受付・実行、収益分配金、償還金及び解約金の支払事務等を行います。なお、販売会社には取次証券会社が含まれる場合があります。

商号	登録番号	加入協会			
		日本証券業協会	一般社団法人 日本投資 顧問業協会	一般社団法人 金融先物 取引業協会	一般社団法人 第二種金融商品 取引業協会
<b>（登録金融機関）</b>					
株式会社きらやか銀行	東北財務局長（登金）第15号	○			
株式会社静岡中央銀行	東海財務局長（登金）第15号	○			
株式会社東北銀行	東北財務局長（登金）第8号	○			
株式会社東和銀行	関東財務局長（登金）第60号	○			
株式会社東日本銀行	関東財務局長（登金）第52号	○			
株式会社福島銀行	東北財務局長（登金）第18号	○			
株式会社北洋銀行	北海道財務局長（登金）第3号	○		○	

（注）販売会社によっては、現在、新規のお申込みを受け付けていない場合があります。

**<本資料に関するお問合わせ先>**

フリーダイヤル **0120-048-214**（9:00～17:00 土・日・祝祭日・当社休業日を除く）